

第71回福島県身体障がい者福祉大会被表彰者名簿

(敬称略)

◆ 自立更生者表彰(3名)

桑折町	斉藤 榮子	相馬市	前山 操
矢祭町	鈴木 幸子		

◆ 更生援護功労者表彰(4名)

本宮市	渡辺 洋子	喜多方市	齋藤 和範
磐梯町	鈴木 貞男	新地町	吉田 はるみ

◆ 加盟団体運営協力者感謝(7名)

二本松市	八木原 保弘	古殿町	森 近志
二本松市	斎藤 亘	古殿町	大竹 茂義
本宮市	川名 六郎	北塩原村	鈴木 敏美
本宮市	渡邊 慎理		

大会スローガン

- ◎ 心のバリアフリーを地域社会に根づかせよう
- ◎ 改正障害者差別解消法及び県条例の理解啓発の促進を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

大会宣言

ここ、実・湧・満・彩（みわくまんさい） 福島市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第71回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体及び福島市をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、障がい及び障がいのある者に対する理解が高まってきているところであり、障がい理解の一層の促進に向け、心を一つにして活動していかなければならない。

また、障害者差別解消法の改正による、事業者における合理的配慮の提供の義務化については、令和6年4月1日施行と決定され、併せて具体的な対応をまとめた「基本方針」も改定された。一方、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」が施行されてから4年余りが経過しており、県民理解のもと、差別解消に向けた取り組みが一層推進されるとともに、県内各市町村の実情に即した「障がい者差別禁止条例」の制定を求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を送られている県内外の障がい者への支援活動を引き続き展開していくとともに、災害時における被災障がい者支援の充実を求める。

このような状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが「私たちのことを私たち抜きに決めないで」とする障害者権利条約の精神にのっとり、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、障がいによって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

令和5年10月19日

第71回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災障がい者の支援に万全を期するため、第71回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 障がい理解の活動を広げ地域共生社会の実現に取り組むことを要望する。
- 2 地域に根ざした心のバリアフリーの推進を図ることを要望する。
- 3 障がい者差別をなくすための条例を県内各市町村で制定することを要望する。
- 4 改正障害者差別解消法の理解啓発の促進を図ることを要望する。
- 5 被災加盟団体の再建への支援並びに災害時における被災障がい者支援の充実を図ることを要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、地域共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

令和5年10月19日

第71回福島県身体障がい者福祉大会